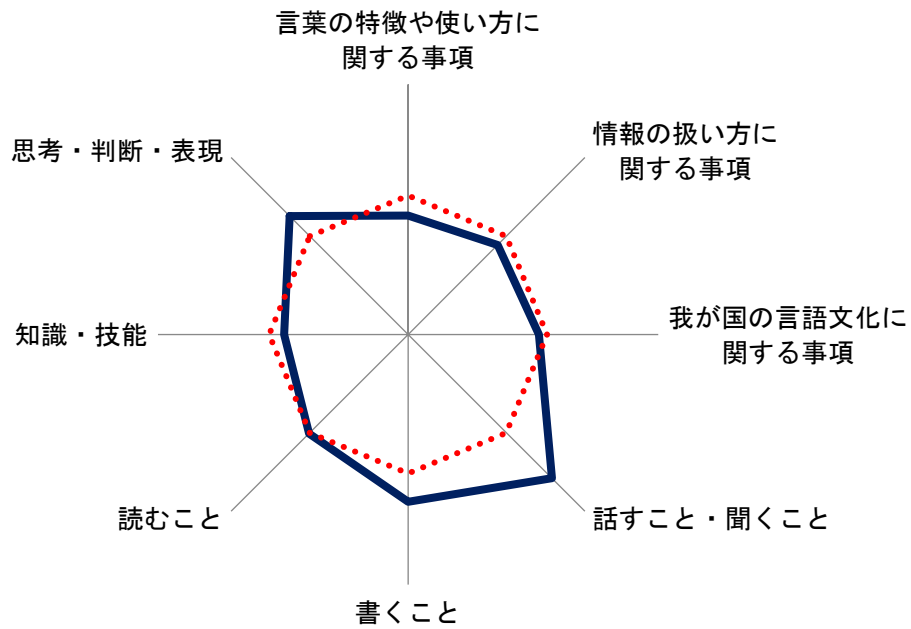


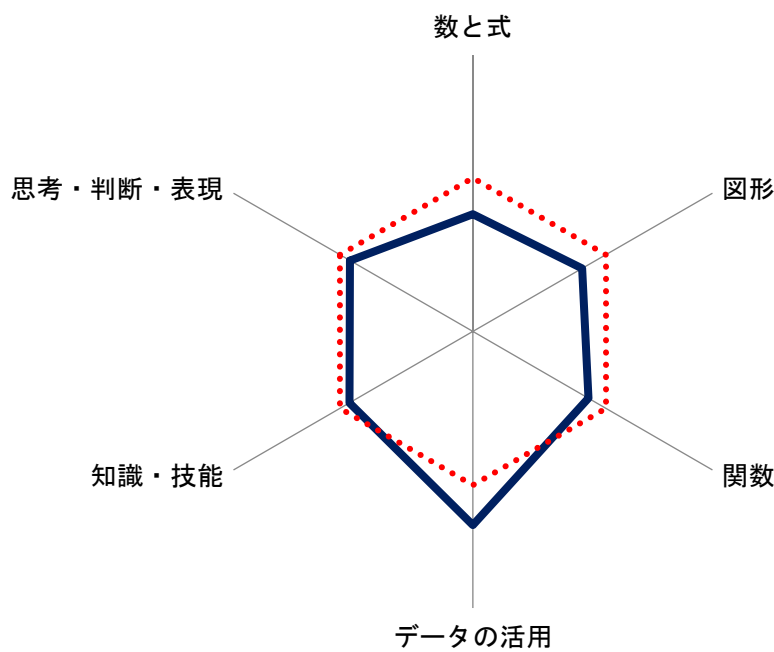
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

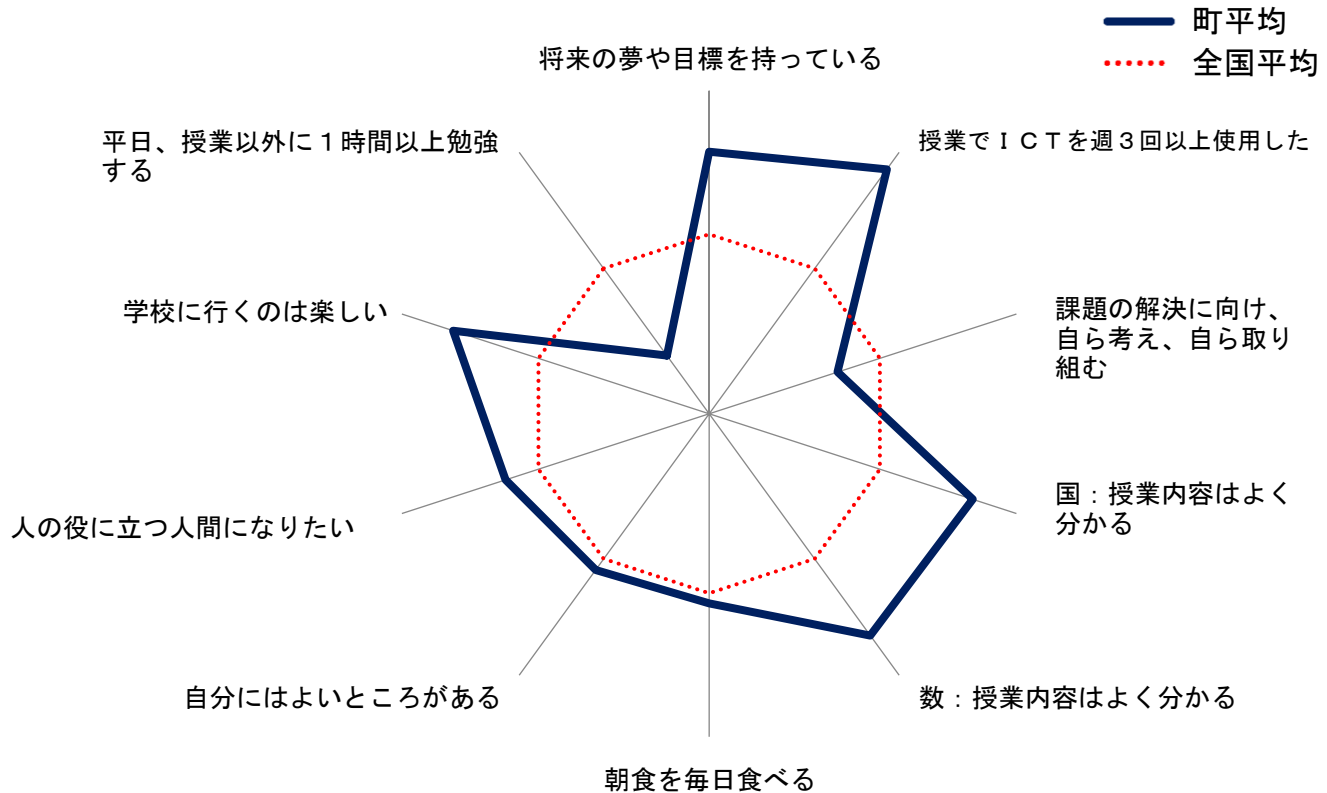
— 町平均
..... 全国平均



【数学】



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「思考・判断・表現」の項目が、全国平均を大きく上回り、昨年度から大きな改善が見られる。一方、昨年度、全ての項目で全国平均を上回っていた数学は、ほとんどの項目で全国平均を下回り、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後も、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続するとともに、町独自の遠隔合同授業による生徒の協働的な学びの場を保障することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

生徒質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」「授業の内容はよく分かる」などの項目が全国平均を大きく上回っており、ICTを効果的に活用した授業改善への取組の成果がうかがえる。また、「学校に行くのは楽しい」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、生徒一人一人を大切にされた学校づくりが推進されていることもうかがえる。一方、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目は、全国平均を大きく下回っており課題である。今後は、ICTを効果的に活用して課題を提示するなど家庭学習の充実を図る取組や、主体的に学習に取り組む態度を高める教育活動を推進することが望まれる。